

野市町50年の小史

昭和30年代 (1955年～1964年)

- 昭和30年 1月1日 野市町誕生(旧野市町・佐古村・香宗村・富家村が合併)
初代町長に村上正吉氏
- 4月1日 逆川・戸板島が土佐山田町へ分離
- 昭和32年 2月9日 香南5カ町村合併、知事勸告を受ける
- 昭和33年 4月8日 東小学校(香宗・富家統合)発足
- 4月10日 2代目町長に岩井儀氏当選
- 9月29日 香南5カ町村合併、総理大臣勸告を受ける
- 昭和36年 5月26日 3代目町長に野嶋栄氏当選
- 昭和38年 4月30日 有線放送電話開通
- 昭和39年 9月16日 東京オリンピック聖火、野市町を通る

昭和40年代 (1965年～1974年)

- 昭和40年 5月16日 町庁舎落成(現在の北庁舎)
- 6月1日 香長し尿処理場落成
- 昭和42年 4月8日 町立野市幼稚園開園
- 10月25日 県立青少年センター落成
- 昭和43年 4月16日 香美郡特別養護老人ホーム『三宝荘』落成
- 昭和44年 4月1日 老人家庭奉仕員(ホームヘルパー)が発足
- 9月 山下地区に簡易水道配水池完成
- 昭和45年 1月10日 野市町学校給食共同調理場落成
- 4月1日 香南消防署発足
- 昭和46年 4月1日 簡易水道から上水道事業になる
- 9月14日 4代目町長に木下光明氏無投票当選
- 昭和47年 7月5日 集中豪雨(浸水632世帯)
- 9月8日 集中豪雨(浸水561世帯)
- 昭和48年 4月21日 戸板島橋が完成
- 4月26日 龍河洞スカイライン開通
- 8月25日 第1回野市田園まつり
- 11月 第1回町民体育大会
- 昭和49年 1月 切石山に配水池
- 5月 佐古地区ほ場整備完成
- 11月1日 『香南清掃組合』南国市と香南5カ町村組合立香南清掃組合を南国市廿枝に建設

昭和50～60年代 (1975年～1988年)

- 昭和50年 1月5日 風揚げ大会(合併20周年記念)
- 9月19日 野市町墓地公園完成
- 11月23日 第1回野市町産業文化祭
- 昭和52年 3月21日 東部住宅団地の名称を『みどり野団地』と命名
- 昭和54年 4月9日 東幼稚園開園
- 9月 保健文化賞を受賞
- 昭和55年 11月8日 町庁舎落成
- 昭和56年 9月17日 町道野地中ノ村線完成

- 昭和57年 3月25日 保健センター落成
- 昭和63年 7月25日 町立図書館落成

平成元年～17年 (1989年～2005年)

- 平成元年 3月6日 国道55号南国道路4車線完成
- 平成3年 11月1日 県立のいち動物公園1次開園
- 平成5年 5月18日 沖縄県具志頭村姉妹都市提携
- 11月7日 第1回商業まつり(全日本人ちんどんコンクール)開催
- 平成6年 4月1日 のいちケーブルテレビ開局
- J A土佐香美発足
- 4月13日 職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ)開校
- 11月28日 県道南国野市線物部川橋完成
- 平成7年 4月1日 第4水源地在稼働
- 4月14日 野市風力発電所落成
- 9月5日 5代目町長に山本清二郎氏無投票当選
- 平成8年 2月1日 香美郡特別養護老人ホーム『三宝荘』移転新築落成
- 10月4日 のいちふれあいセンター落成
- 平成9年 4月1日 母代寺地区農業集落排水施設供用開始
- 香南ケーブルテレビ開局
- 平成10年 4月27日 龍河洞トンネル開通
- 7月27日 第1回の一いち花火大会開催
- 9月24日～25日 集中豪雨(浸水367世帯)
- 11月20日 佐古防災コミュニティセンター新築落成
- 11月22日～23日 第1回の一いち祭り開催
- 平成11年 8月31日 6代目町長に仙頭義寛氏無投票当選
- 11月14日 野市町総合体育館落成
- 平成12年 2月1日 佐古地区農業集落排水施設供用開始
- 6月27日 兎田八幡宮『絵画細形銅剣』国の重要文化財指定
- 7月19日 町道駅前南北線全線開通
- 12月8日 野市町ふれあい広場落成
- 平成13年 4月25日 香南工業用水、県と野市町が取水協定書調印
- 9月下旬～11月下旬 高知国体リハーサル大会開催
- 平成14年 4月 のいちウォーキングトレイル開通
- 6月1日 上岡地区農業集落排水施設供用開始
- 7月1日 ごめん・なはり線開通
- 9月20日～24日 よさこい高知国体夏季大会開催
- 9月23日 高円宮殿下・妃殿下がご来町
- 10月1日 バス路線『西川線』を野市町と香我美町で共同運行開始
- 10月26日～30日 よさこい高知国体秋季大会開催
- 10月27日 天皇・皇后両陛下がご来町
- 12月9日 香南・芸西合併任意協議会設立
- 平成15年 4月1日 香南・芸西合併協議会設立
- 野市浄化センター一部供用開始
- 平成16年 6月30日 香南・芸西合併協議会解散
- 平成17年 2月27日 合併50周年記念式典

合併50周年を迎えて

合併五十周年

野市町五十年の歩み



昭和三十年一月一日、旧野市町、佐古村、香宗村、富家村の三村が合併し

て以来五十周年を迎えることができました。この間、先人、先輩の皆様方のご努力と町民の皆様方のご協力により、発展を遂げて参れましたことに、厚く感謝申し上げます。

野市町は、県下三大河川の一つ、物部川の左岸に開けた田園の町です。江戸時代に荒地地だった土地が開拓され、野市六千石といわれる美田となり、農業を基幹産業とし発展して参りました。

現在では、恵まれた地理

的条件などから『みどり野団地』に代表されるような宅地開発が進み、当初九千人余りだった人口が、現在は一万七千人を超えています。

この間、野市町では農業構造改善事業、各種道路網の整備事業、共同保健事業などの推進をはじめ、公共施設や文教施設の充実など山積みする諸問題に取り組み、多くの成果を上げて参りました。

しかし、高度成長期以来順調に発展してきた日本経済に陰りが出てきた今、市町村を取り巻く環境は行財政ともに厳しい状況にあります。野市町でも、事業の休止やコストの縮減など行財政改革に積極的に取り組むとともに、将来を見据え

た社会情勢に対応すべく、取り組んでおります。

私たちは今、かつて先人の経験したものと異なつた厳しい状況に直面しておりますが、この試練を乗り越えて、これからの野市町の進むべき道を切り開いてゆくことこそ現代に生きる私たちの責務であると思っております。

今日まで町勢進展のためにご尽力くださいました先輩・町民の皆様方の熱意とご協力で深い敬意と謝意を表し、『環境と調和のとれた住んでよかつたと思える町』、『人に優しく明るい町』を目指し、全力で取り組んで参ります。今後とも、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民憲章

太陽と水と緑は、野市の町の誇りです。

先人の香り高い文化遺産で、輝かしい伝統を受け継ぎ、町に活力を、若人に夢を、老人に安らぎをモットーに、豊かな未来の創造をねがい、この憲章を定めます。

- ・わたしたちは、進んで健康づくりにつとめます。
- ・わたしたちは、力を合わせ明るい家庭をつくりまします。
- ・わたしたちは、思いやりの輪を広げ、心のふれ合う町をつくりまします。
- ・わたしたちは、仕事に励み、活力ある町をつくりまします。
- ・わたしたちは、文化を高め、豊かな郷土をつくりまします。

町章



全体は平和の象徴、鳩を表現し、『の市』の『の』の字を図案化したものです。丸い円は、円満と団結を表し、四枚の羽根は、野市、佐古、香宗、富家を組み合わせ、中の三角

町の鳥ノヒバリ

昭和五十四年十月三十日決定



町の花ノ水仙

平成二年三月七日決定

町の木ノせんだん

平成二年三月七日決定

さらなる飛躍 50周年の節目を祝う

消 防 交 通 行 政 地 方 自 治



楠瀬 隆一
(西野・65歳)
約43年間、消防団活動に従事し、消防団の充実強化と災害の防除に寄与した。



山地 通
(西野・72歳)
約32年間、町の交通安全指導員として交通安全の推進に寄与した。



弘田 忠士
(中ノ村・68歳)
町職員、教育長、収入役として町勢の発展に寄与した。



福田 豊治
(東佐古・73歳)
町職員、収入役、助役として町勢の発展に寄与した。



畑山 則雄
(中ノ村・64歳)
8期32年間、町議会議員として地方自治の発展に寄与した。



岡田 勝
(深淵・69歳)
7期28年間、町議会議員として地方自治の発展に寄与した。

産 業



藤村 義夫
(西野・68歳)
昭和41年に野市農業協同組合青壮年部部長に就任以来、農業の振興発展に寄与した。



岡村 任雄
(西野・72歳)
昭和42年に野市町商工会理事に就任以来、町の商工業振興に貢献した。



福田 静夫
(東佐古・63歳)
優良農地の確保と有効利用対策、農家の地位向上など地域農業の振興発展に寄与した。



鈴木 常夫
(みどり野・65歳)
町内開業医として住民の健康意識の向上と循環器疾患管理対策に寄与した。



島村 知恵
(西佐古・66歳)
地域の保健衛生、環境保全活動の推進に寄与した。



山本 和子
(西野・73歳)
地域での生活習慣病予防の啓発と保健衛生の向上に寄与した。

感謝状贈呈



野市ちんどん倶楽部
平成4年の結成以来、人々に笑いと活力を与え、野市町の活性化に寄与した



岡田 順一
(父養寺・76歳)
上井(うわゆ)川管理道の堤とのり面を紫陽花(あじさい)街道として整備。美しい町づくりに貢献した。

教育文化



水田 先
(東野・67歳)
公民館活動、初期の社会体育の振興と各種スポーツの普及、青少年の健全育成に貢献した。

教 育



永森 正策
(東佐古・73歳)
森田村塾塾長や野市町教育委員会教育委員長として教育・文化・スポーツなどの発展に貢献した。

文 化



久家 治水
(東野・82歳)
野市町文化財保護審議会委員として、文化財の発掘や保護に寄与した。

合併五十周年記念式典が二月二十七日(日)、のいちふれあいセンターサンホールで開催され、町内外の行政・議員など関係者ら約二百人が合併の節目を祝いました。
式典では地方自治や行政、保健衛生、産業など各分野で功労があった十五人を表彰、一人と一団体に感謝状を贈呈しました。
表彰されたのは次ページの皆さん。(敬称略)



仙頭町長(左)から表彰を受ける受賞者



式典に華を添えた日本舞踊坂東流師範 坂東市弥さん(みどり野在住)による祝賀の舞



約200人が参列し、節目を祝った野市町合併50周年記念式典



野市町出身の演歌歌手、黒川英二さんが新曲『よさこい慕情』と『夢さがし』を披露